



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

みんなで つくろう  
緑豊かな安心の町

発行  
志津南地区自治連合会  
事務局：志津南公民館  
Tel 563-6206

## 町づくりの関心が高い

### アンケート回収率は94%

町づくり委員会は、3カ年事業の最終年度にあたって、今年8月に志津南地区全戸を対象に実施した、これからの志津南地区の町づくりの課題と方向性を探るアンケート調査の集計をこのほど終えました。現在、その方向付けと指標づくりに向け、結果の分析と課題の抽出を急いでいますが、これまでの集計結果について主だった点をいくつか紹介します。

調査票は配布した903世帯中847世帯から回収、回収率は全体で94%、一部町内会では100%という高い率で、住民の皆さんがこの町に対して高い関心をお持ちであることを示しています。地域の現況から順に項目を拾っていくことにします。

**【住民構成】**  
年齢を見ますと、男女合わせ平均年齢は49・5歳で最も多のは50代の320人、次いで40代の188人と続き、住民の約6割がこの世代です。一方、60代以上も約240人と全体の3割弱を占め、地域が高齢化しつつある現状を示しています。世帯人数をみると、全体の84%が2〜4人暮らし。70歳以上では、その80%が1

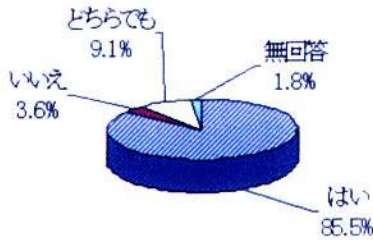
人または2人暮らしとなっております。 **【町並みの保存】**  
今回の調査で大きなウェイトを占める「町並みの保存」については、85%の人が現状の維持を望んでいます。4%の人は維持管理面などの点から「望まない」と答えています。一方「建築基準の緩和」については老朽化や同居家族問題から4割近くの人が増改築の必要性を感じ緩和を望んでいることが分かりました。

**【子育ての環境】**  
子どもが育つ地域環境や態勢については「満足」「おおむね満足」を合わせると72・8%に達し、「やや不満」「不満」の5・8%を大きく上回りました。 **【近所・地域内の関係】**  
助け合える友人がいると答えた人は10人に3人と30%にすぎず、半数以上の人が「立ち話程度」「あいさつ程度」と、意外に付き合いが浅いことを示しています。 **【緊急時非難】**  
緊急時の避難の際には、6人に1人が「手助けが必要」と答えており、地域としてなんらかの手立てを講じる必要があるようです。

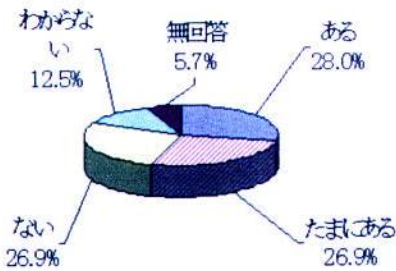
**【町の安全】**  
また、もう一つの大きな関心事である「まちの安全」については、6割近くの人が不安を抱いており、その理由として公園の状態や地域全体の夜の暗さを挙げています。 **【自治連広報】**  
自治連が発行する広報紙は3

人に2人が継続を望んでおり、地域のホームページについては、開設されれば「たまには見る」を含め、55%が見ると答えています。 **【緊急時非難】**  
緊急時の避難の際には、6人に1人が「手助けが必要」と答えており、地域としてなんらかの手立てを講じる必要があるようです。 **【自治連広報】**  
自治連が発行する広報紙は3

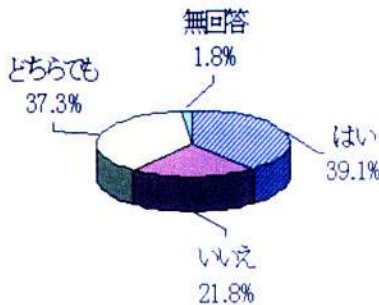
問10. 緑豊かな町並み保存を望みますか



問11. 地域内で夜音不安を感ずますか



問12. 建築基準緩和後の増改築予定は



	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	岡本西	合計
配布	110	112	105	112	90	136	95	89	54	903
回収	110	108	98	100	86	132	88	81	44	847
率%	100.0	96.4	93.3	89.3	95.6	97.1	92.6	91.0	81.5	93.8

### アンケート回収結果

なお、アンケート結果の詳細については、準備が整い次第、各戸配布・回覧する予定です。  
(自治連委員会)

# 合同運動会なごやかに

## 学区再編で新しい顔ぶれも

第5回志津南小学校・志津南地区合同運動会が、9月19日午前8時30分から志津南小



俳句で選手宣誓する児童代表

学校グラウンドで開催されました。

入場行進では6年生の鼓笛隊にあわせて児童161名と

各町内代表200名が整然と

入場。鷹羽校長の開会の言葉

小野自治連会長のあいさつに

続き、児童代表が俳句で読み

込み選手宣誓を行いました。

このあと、恒例のふれあい夕

イムで幕を開けました。

参加者全員が一人あたり10

人以上とあいさつと握手を交

わし、和やかな雰囲気醸し

出されました。

前日の雨模

様から天候が

心配されまし

たが、参加者

の熱い思いに

押し流された

かのような秋

晴れの中、学

区編成見直し

で今年から新

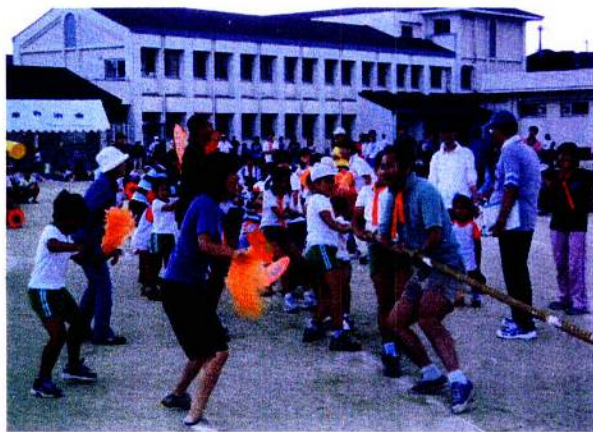
しく志津南小

学校に編入さ

れた追分町や

岡本町一部も

参加、1年生



町内対抗の綱引きにあつい声援

は初めての、6年生は最後となる運動会に感動していました。

町内対抗では、各町内の役員が競技が終わるたびに本部席の得点表を見て一喜一憂。熱い闘いは若草2丁目の優勝で幕を閉じました。

町内対抗の成績は次のとおりです。

優勝	若草2丁目
準優勝	若草6丁目
3位	若草5丁目

## 百一歳に市長が祝辞

### 晴れやかに敬老祝賀式



祝賀式で祝辞を述べる橋川部長



アトラクションの津軽三味線



綱引きに力強い声援をおくる応援団

## カラフルに応援合戦

### 高穂中学校体育祭

第21回高穂中学校の体育祭が9月10日、高穂中学校グラウンドで開催されました。

松浦生徒会長の力強い宣誓、そして生徒570数人の見守るなかを聖火が入場、点火とともに熱戦がくりひろげられました。

カラフルな団旗の下、メガホン、拍手子とチームの選手達に大きな声援をおくっていました。今年の1年生は力のこもった心身鍛練の太極拳でした。



イベントを楽しむ参加者

志津南地区敬老会祝賀式典が9月20日、志津南公民館で盛大に行われました。

式には当地区の対象者23

8人のうち約40%にあたる97人が出席しました。

滝井社会福祉協議会会長のあいさつに続き、来賓の卓津市長代理の橋川企画部長が伊

庭市長の祝辞、石本草津市社会福祉協議会会長からのメッセージを披露、地元の大脇市会議員から祝辞を述べました。

今年めでたく百一歳を迎えた向出チヨさん(若草4丁目)

福の小劇を披露しました。

参加者一同は、来年も元気でおいしましよと誓い合うなど、楽しいひと時を過ごされました。

(社会福祉協議会)

# 全国秋の交通安全運動

## Jポリスが安全運転促す

### バス停でアンパンなど配る



待機するジュニアポリス（中央バス停）

秋の交通安全運動期間中の9月27日、志津南小学校3年生児童25名がジュニアポリスの制服を着て、かかやき通りの中央バス停付近でドライバーに事故防止を



呼びかけました。児童たちはそれぞれ交通安全の思いを託した啓発標語をハガキ2枚に書き、草津・栗東交通安全協会志津南支部が用意した焼きたてのアンパンと一緒にドライバーに手渡ししながら（写真右）「私たちも歩行者ルールを守ります、安全運転に心がけてください」と訴えました。

## ポスターで交通安全呼びかけ

### 児童が夏休みの宿題で制作



公民館に展示されたポスター

期間中の宿題として、交通安全啓発ポスターをつくりました。志津南地区安全会では9月18日志津南公民館で審査を行い47点の応募作品から最優秀賞1点と優秀賞10点を選び、9月21日から始まった秋の交通安全週間期間中、志津南公民館サロンに展示し、公民館の利用者や地域の人々にルールを守り、事故防止に努めていただくよう

啓発しました。

ポスターには携帯電話を使用しながら運転している図柄や横断歩道での左右確認の注意を喚起するものなど、審査員は子どもたちの交通安全に対する意識の高さに感心していました。

最優秀賞には3年生の加藤あかりさんの作品（写真左）が選ばれました。



今日は運動の話です。東京都老人総合研究所が地域の老人の運動能力などを10年間追跡調査した結果、将来、生活機能を失う危険性や死亡率をもっともはっきりと予測する測定項目は歩行スピードでした。

はじめは全員が元気でしたが、速く歩けなかったグループが最も多く転倒し、日常生活動作ができなくなる人が最も多く、そして死亡率も高くて、速く歩けたグループの2倍にもなりました。今すでに体力の落ちてしまった人も悲観することはありません。

日本の別の研究では、ダイナミックフラミンゴ訓練と名付けた眼を開けて1分間片足立ちする訓練を一日3回実施しました。すると平均64歳の片足立ち時間は平均65秒と、訓練していないグループの倍に伸び、半年間の転

## 寝たきりにならないために

### 転倒対策に片足立ち訓練

倒回数は31回から9回に激減していました。

運動能力だけではありません。健康な高齢者の免疫力は若年男性に匹敵するという研究結果が、今年の米国の雑誌に発表されました。それによると20〜25歳および65〜79歳の健

は勇気づけられます。

「身体的に活発な生活習慣の維持によって、一生涯にわたり健康状態の改善が得られるが、このことは特に免疫系が弱体化している時期にあてはまる。必要なのは定期的かつ適度な

通常、免疫系反応は年齢とともに低下し、高齢者は病気にかなりやすい状態となるので、高齢者にとってこの結果

導入されています。寝たきり状態から回復し

最近、全国の自治体や介護施設で寝たきり予防のために、パワーリハビリテーションが

（若草診療所整形外科 宮原健一郎）

第一回すこやかセミナー

南極越冬の苦労話聴く

元観測隊員の中村氏が講演



貴重な体験談に聴き入る参加者

志津南地区  
青少年育成区  
民会議の平成  
16年度「第1  
回すこやかセ  
ミナー」が9月  
23日、志津南公  
民館で開かれ約  
70人が参加しま  
した。

今回は、第33  
次(91年12月、  
93年2月)と第  
43次(01年12月  
、03年2月)に  
南極地域観測隊  
の越冬隊員として  
参加した京都大学

職員の中村俊弘氏を講師に  
「南極の楽しい暮らし方」と  
いうテーマで講演していただ  
きました。

中村氏は観測隊の一員とし  
て南極点近くのドームふじ観  
測拠点で寒さと低気圧と闘い  
ながら、5年間放置されたま  
まの機器を動かし、三ヶ月  
トルを超える深さまで氷床深  
層コア掘削を通じて、約80万  
年前の地球の気象状況の探索  
などの激務をこなされました。  
その傍ら、季節ごとの行事  
オーロラの見える露天風呂、  
雪の斜面を利用した流しそ  
うめんなどを楽しむといった遊  
び心を大切にされたことなど、

水郷めぐりにうっとり

ヨシの歴史を学ぶ

高齢者ふれあいバスツアー

志津南地  
区町づくり  
委員会は、  
10月4日  
地域の高齢  
者を対象に  
した「ふれ  
あいバスツ  
アー」を開  
催しました。  
参加者25  
人は秋晴れ  
の下、近江八幡の「ヨシ博物

苦労話とともに披露、参加者  
は時間の経つのも忘れ聴き入  
り貴重な体験を共有しました。



水郷めぐりにうっとり

館」を見学、元教授の西川館  
長から世界に広がるヨシにつ  
いて説明を受け認識を新  
たにしました。

りのふれあいの機会を楽し  
みました。



3年前より  
ソフトバレー  
を楽しむ仲間  
が集まって賑  
やかにコート

でプレーしています。部員は現在8人で  
すが、時には近隣のチームや大津市のチ  
ム遠くは八日市のチームも練習に来て頂  
いています。

初心者ばかりで、弱いチームですが年2  
回の草津交流試合や滋賀県のソフトバレー  
大会等にも参加しています。

町内ソフトバレー大会でもなじみがあ  
り、やってみようと思っっている方、運動

ソフトバレークラブ「フレンズ」

異世代交流で楽しく



試合前のフレンズのメンバー

不足で体を動かしてみたいと思っ  
ている方、興味をお持ちの方は是非一度練習を

覗いてみて下さい。飛び入り  
の参加も大歓迎です。練習は  
毎週日曜日の九時半から十二  
時まで、志津南小学校体育館  
で行っています。  
ソフトバレーは子どもから、  
おじいちゃん、おばあちゃん  
まで生涯スポーツとして楽し  
めます。

▽連絡先  
今年度代表 桜井 典子  
電話 565-4589

みんなの広場

若草に居を構えて20年の月  
日が流れました。

当初は、ここまでの車社会  
を予測できなかったため、駐  
車スペースも1  
台というのがほ  
とんどでした。

核家族で移り  
住んだ世代も、子供達の成長  
に伴って車の台数が増え、わ  
が家でも2台の車を運転手4  
人が使用するという状況です。  
できれば緑を残しておきたい  
という思いもありましたが、

やむを得ずスペースを広げた  
次第です。

家庭によってはスペースを  
確保できない場合もあり、最  
近は路上駐車も多く見受けら  
れるのが現実です。

防犯上の点からも緑地を減  
らさない  
点からも  
対策はな  
いものか

駐車スペース考

と思います。  
----- (3丁目\_Aさん)  
日ごろ気付いたこと、疑問  
に思ったことを各町広報部長  
または事務局(公民館)まで  
お寄せ下さい。